

参考1：実施要領（概要）

I. 目的

認知症の人を地域で支える先進的活動を広く全国から募集して選考の上、顕彰し・発表します。経験を学びあうことによって、認知症の人の本来の力を活かしてともに暮らす新しい町づくりの活動を全国ではぐくむ。

II. 主催等

- ・主催：社会福祉法人 浴風会 認知症介護研究・研修東京センター、社会福祉法人 仁至会 認知症介護研究・研修大府センター、社会福祉法人 東北福祉会 認知症介護研究・研修仙台センター
- ・共催：社団法人 呆け老人をかかえる家族の会、住友生命保険相互会社
- ・後援：厚生労働省、(社)全国社会福祉協議会、国際長寿センター、(財)さわやか福祉財団、(社)成年後見センター・リーガルサポート、全国介護支援専門員連絡協議会、(NPO)全国認知症グループホーム協会、全国農業協同組合中央会、(社)全国老人保健施設協会、宅老所・グループホーム全国ネットワーク、(社)日本医師会、日本介護福祉学会、(社)日本介護福祉士会、(社)日本看護協会、日本高齢者虐待防止学会、(社)日本社会福祉士会、日本生活協同組合連合会、(社)日本精神科看護技術協会、(社)日本精神科病院協会、日本精神保健福祉士協会、日本地域福祉学会、日本認知症ケア学会、日本放送協会、日本療養病床協会、日本老年精神医学会、福祉自治体ユニット、(財)ぼけ予防協会

III. 実行委員会

実行委員長：長谷川和夫（認知症介護研究・研修東京センター長）

実行委員：加藤伸司（認知症介護研究・研修仙台センター研究・研修部長）
古河久人（住友生命保険相互会社調査広報部長）
小長谷陽子（認知症介護研究・研修大府センター研究部長）
杉山孝博（社団法人 呆け老人をかかえる家族の会 副代表幹事）
永田久美子（認知症介護研究・研修東京センター主任研究主幹）

IV. 実施内容

1. 応募資格者：認知症の人が安心して暮らせる町づくりに取り組む団体、個人、グループ。
2. 課題・応募方法：認知症ケア実践活動の取り組みを報告にまとめて送付。
3. 選考委員長：堀田力（さわやか福祉財団理事長、弁護士）ほか選考委員16名
4. 賞：厚生労働大臣賞、認知症介護研究・研修センター賞、呆け老人をかかえる家族の会賞、住友生命保険相互会社賞。特別賞
5. 募集期間：募集開始 平成17年（2005年）4月1日 応募締切：平成17年（2005年）10月31日
6. 表彰・発表： 平成18年（2006年）2月4日（土） 東京、九段会館

参考2：「認知症を知る1年」「認知症を知り、地域を作る10ヵ年」について

本キャンペーンのおもな取り組み

☆「認知症サポーター100万人キャラバン」による住民・職域・学校講座

（5年間で100万人の「認知症サポーター」を養成）

<http://www.caravanmate.com/>

☆認知症の人「本人ネットワーク」支援

（認知症の本人と家族のネットワークづくりを応援）

<http://www.dai-jobu.net/>

☆認知症の人や家族の力を活かしたケアマネジメントの推進

（認知症の本人と家族によるケアプラン作り）

<http://www.dai-jobu.net/>

☆「認知症でもだいじょうぶ町づくり」キャンペーン2005

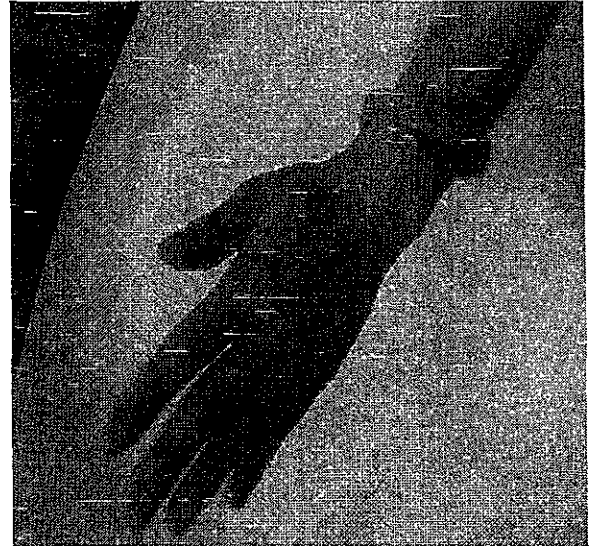
<http://www.dcnet.gr.jp/campaign>

※詳しくは認知症になっても安心して暮らせる町づくり100人会議ホームページをご覧ください。

<http://www.ninchisho100.net>

「認知症サポーター」とは

- 認知症サポーター100万人キャラバンによる「認知症サポーター養成講座」を受講した者を「認知症サポーター」と称する。
- 認知症サポーターは、認知症について正しい知識を持ち、認知症の人や家族を応援するボランティアである。
- 認知症サポーターには講座開催主体者を通じて、全国キャラバン・メイト連絡協議会よりボランティアのシンボルグッズである「オレンジリング」を交付する。



「認知症サポーター養成講座」とは

受講者が、認知症について正しい知識を持っていただくため、下記の要件を満たし、全国キャラバン・メイト連絡協議会が開催を了承したものの。

- カリキュラムは、「認知症サポーター養成講座基本カリキュラム」に沿った内容とすること。
- 時間数は、概ね「1時間～1時間30分」程度以上とすること。
- 講師は、「キャラバン・メイト養成研修」を修了したキャラバン・メイトであること。
- 教材は、「認知症サポーター養成講座標準教材」(全国キャラバン・メイト連絡協議会)を用いること。

※ 講師については、キャラバン・メイト養成研修の講師など、キャラバン・メイトと同等の知見を有する者でも可。

※ 教材については、標準教材の他、独自のものも可。



認知症サポーター養成講座 基本カリキュラム

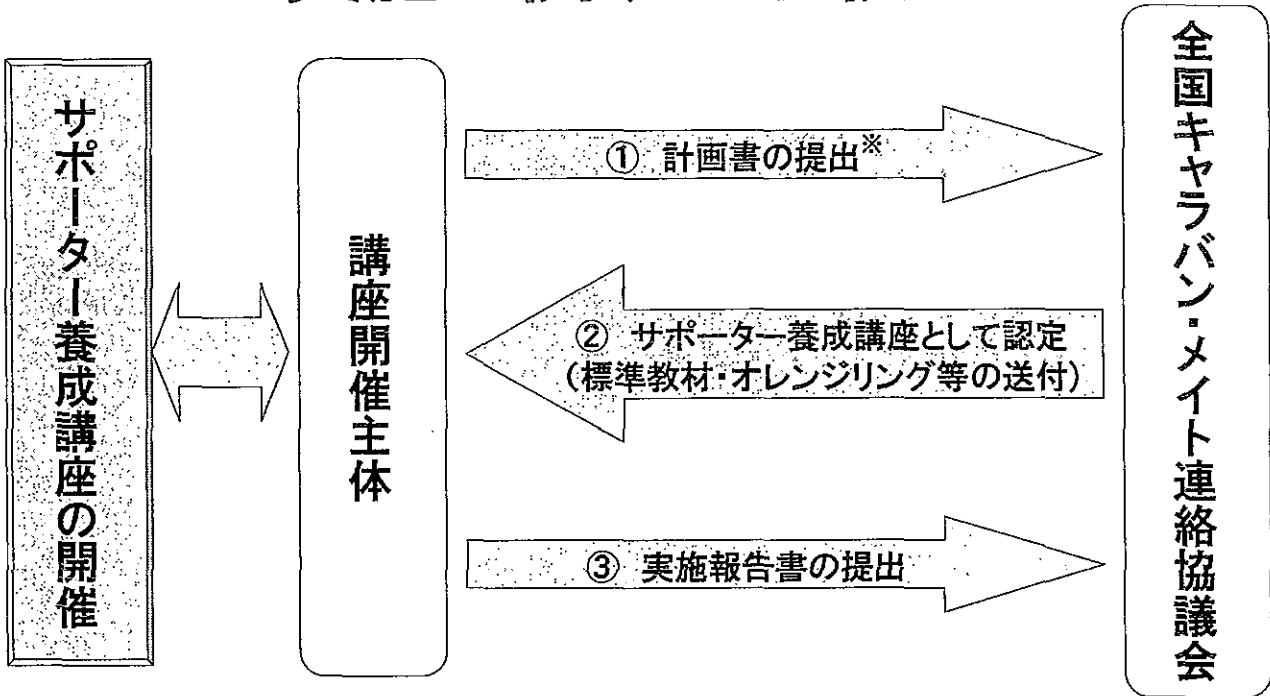
基本となる内容	標準時間	基本となる内容	標準時間
<ul style="list-style-type: none"> ●認知症サポーター100万人キャラバンとは ●認知症の基礎知識(1)「認知症とはどういうものか」 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ●認知症の基礎知識(4)「認知症の診断・治療」 <ul style="list-style-type: none"> ・早期診断・早期治療の重要性 ・認知症の治療 ・認知症の経過と専門医との関係 	10分
<ul style="list-style-type: none"> ●認知症の基礎知識(2)「認知症の症状」 <ul style="list-style-type: none"> ・認知症のもの忘れの特徴 ・早くから表れる見当識障害 ・ものを考えることにもおこる支障 ・感情の表現にも変化をきたす ・実行機能障害について ・元気がなくなり、引っ込み思案になることがある 	20分	<ul style="list-style-type: none"> ●認知症の人への対応のしかた 	20分
<ul style="list-style-type: none"> ●認知症の基礎知識(3)「認知症の症状からおこる生活上の困難」 <ul style="list-style-type: none"> ・計画を立て、按配することができない ・身の回りのことにもおこる支障 ・精神症状についての理解 ・行動障害についての理解 	20分	<ul style="list-style-type: none"> ●サポーターとしてできること <ul style="list-style-type: none"> ・地域の認知症を支える仕組み、相談機関 「わがまちの認知症SOS便利帳」 ●質疑応答 	10分

計 90分

想定される講座主催者と対象者

開催主体者	対象者
都道府県・市町村等の自治体等	<ul style="list-style-type: none"> ○住民 <ul style="list-style-type: none"> 住民組織(自治会、老人クラブ、子供会など)、民生・児童委員、防災・防犯組織、介護者の会等の当事者組織、ボランティア団体等 ○地域の生活関連企業・団体活動等に携わる人 <ul style="list-style-type: none"> 企業、団体(商工会議所、同業者組合等)
職域団体等の全国組織等	<ul style="list-style-type: none"> ○全国的・広域的に事業展開を行っている団体・企業の所属組合員、従事者等

サポーター養成講座 実施に関する手続き



※ 複数回の講座開催を予定している場合は、長期計画を併せて提出すること。

手続きに要する様式等

(別紙4)

「認知症サポーター養成講座」開催連絡票

サポーター養成講座の開催予定を記入のうえ、下記までメールしてください。
オレンジリング等は講座実施団体の事務局に送付します。
開催後は、実施報告書を提出してください。
全国キャラバン・メイト連絡協議会
E-Mail: caravanmate@orange.email.ne.jp

提出日:平成 年 月 日

研修実施者 (市町村・団体名)			
事務局 連絡先	担当者	部署名	
	住所	〒	
	TEL	FAX	E-Mail
＜認知症サポーター養成講座概要＞			
開催日時	年 月 日 (時間: ~ :)		
会場	(住所:)		
受講対象者			
予定受講人数	人		
講師	(所属・所属)	<input type="checkbox"/> 紹介依頼 (希望する)	
	内容	時間配分	
講座の構成		: ~ : (分)	
		: ~ : (分)	
		: ~ : (分)	
使用教材			
配布資料			

(別紙5)

「認知症サポーター養成講座」実施報告書

講座の概要とサポーター人数(内訳)を把握するものです。
サポーター養成講座の開催ごとに事務局で取りまとめた、全国キャラバン・メイト連絡協議会まで送付してください。
E-Mail: caravanmate@orange.email.ne.jp

市町村・団体名 (市町村委託団体名)	()						
所属所属先法人名 (地域団体・グループ等)	【NPO等が市町村から委託を受けている場合に記入】						
開催日時	平成 年 月 日 ()		研修時間: ~ : (計 時間)				
担当メイト氏名	(メイト研修受講年月日: 年 月 日)						
参加人数	合計 人						
男女別参加人数 (要)	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代 以上	合計
	女性						人
	男性						人
	合計						人
講座の構成	内容		時間配分				
			: ~ : (分)				
			: ~ : (分)				
使用教材							
配布資料							

認知症サポーター養成講座開催について の問い合わせ先

全国キャラバン・メイト連絡協議会 (特定非営利法人 地域ケア政策ネットワーク内)

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町2-7-15近代科学社ビル4F
TEL 03(3266)0551 FAX 03(3266)1670

ホームページ

<http://www.caravanmate.com/>

[参考]

キャラバン・メイトの要件

次の該当者のうち、年間10回程度を目安に、「認知症サポーター養成講座」を開催し講師を務めることができる者であって、「キャラバン・メイト養成研修」を修了した者。

- ・ 認知症介護指導者養成研修修了者
- ・ 認知症介護実践リーダー研修(実務者研修 専門課程)修了者
- ・ 介護相談員
- ・ 認知症高齢者グループホーム評価調査員
- ・ (社)呆け老人をかかえる家族の会会員
- ・ 認知症ケア専門士
- ・ 認知症に関する基本的な知識や介護経験があり、上記に準ずると認められる者(キャラバン・メイト養成研修主催者が適当とする者を含む)



[参考]

キャラバン・メイト養成研修開催概要

(平成17年12月14日現在)

	開催自治体		開催日	養成人数
開催 済み	札幌市		2005年8月31日	174
	本別町(北海道)		2005年10月4日	105
	宮城県	宮城県認知症サポーター100万人キャラバンネットワーク	2005年11月4日 2005年11月14日	195
	水戸市(茨城県)		2005年11月28日	97
	若狭町(福井県)		2005年11月24日	133
	高浜市(愛知県)		2005年11月19日	99
	茅野市(長野県)		2005年10月21日	122
	東近江「福祉の地域づくり」推進協議会	近江八幡市、東近江市、安土町、蒲生町、能登川町、日野町、竜王町	2005年9月27日	38
	伊賀市(三重県)		2005年12月3日	105

計 963名

[参考]

キャラバン・メイト養成研修開催予定

(平成17年12月14日現在)

開催自治体	開催日	開催自治体(日程調整中)	
邑南町(島根県)	2005年12月21・25日	山梨県	江別市(北海道)
京都府	2006年1月12・17日	四日市市(三重県)	静岡県
行橋市(福岡県)	1月14日	鶴岡市(山形県)	山形市
石川県	1月17日	栃木県、宇都宮市	熊本県
紫波町(岩手県)	1月19日	南部箕蚊帳広域連合(鳥取県)	福島県 (開催を検討中)
吉川市(埼玉県)	1月21日		
西条市(愛媛県)	1月26日		
愛知県	2月1日		
群馬県	2月7日		
横浜市	2月18日		